主な復興事業の進捗状況と今後の予定（第1回「安全・安心」）

「市民の皆様の生活再建の一助」とし、かつ「皆様との協働により復興事業を加速させ、早急に当市の復興を成し遂げること」を目的とし、今月より毎月１５日号では、主な復興事業の進捗状況と今後の予定をお知らせしていきます。第１回は、津波などの災害から皆様を守る「安全・安心」を中心とした事業です。

※TP は、東京湾平均海面（Tokyo Peil）のことで、全国の標高の基準となる海水面の高さです。

次回は、「くらし」をテーマに主な復興事業の進捗状況と今後の予定をお伝えします。

事業の概要と工程

①事業の目的　②事業概要　　※平成 24 年８月 31 日現在

◆海岸堤防（石巻工業港付近）【県事業】

【主な岸壁復旧工事】

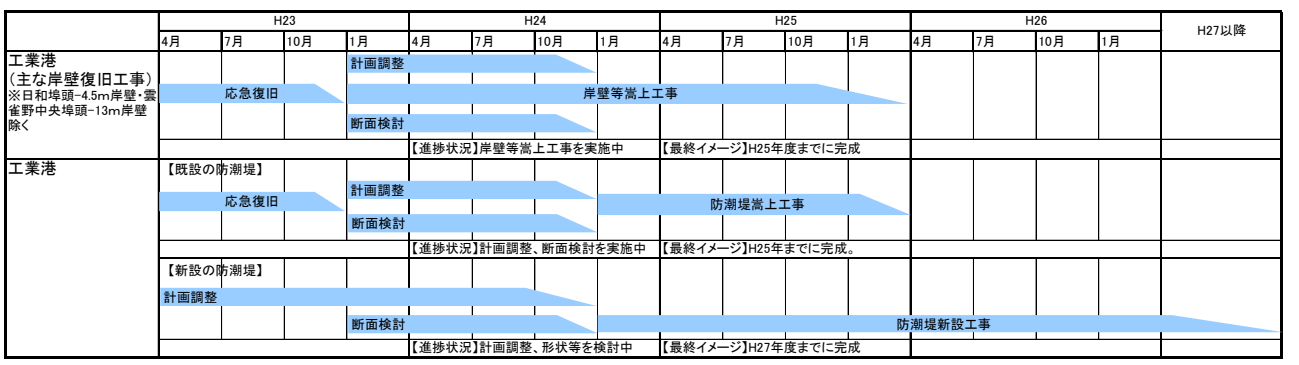
①防災機能を備えた安心安全な港づくりを推進します

②地盤沈下した地域のかさ上げ工事は、港湾利用企業との調整を図りながら進めていきます

【主な防潮堤工事】

①津波や高潮から地域を守ります

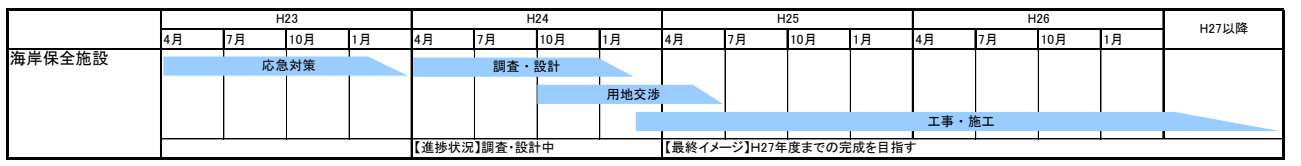
②外洋に面した防潮堤はＴＰ７.２メートルにかさ上げし、新設する内陸の防潮堤はＴＰ３.５メートルで整備します



◆海岸保全施設【県事業】

①津波の勢いを弱めるための防潮堤等を海岸に整備します

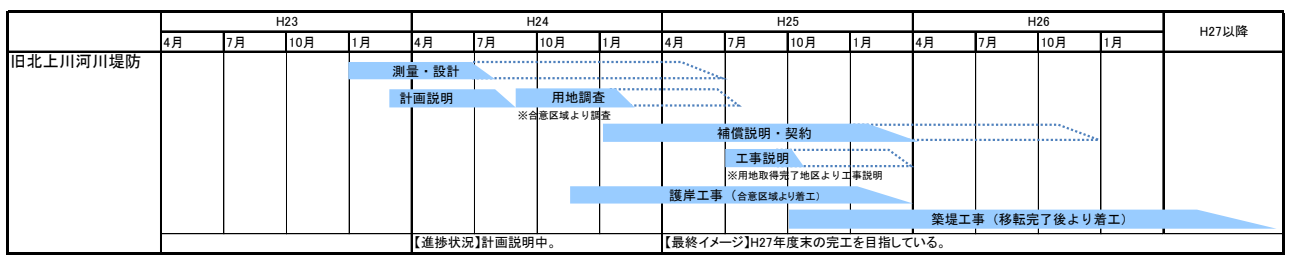
②北上川河口から漁港西護岸、また漁港東護岸から渡波地区の長浜防波堤までをＴＰ７.２メートルにかさ上げし、万石浦周辺の堤防はＴＰ２.６メートルの高さにします



◆旧北上川河川堤防【国事業】

①洪水、高潮、津波（明治三陸津波相当）から市街地、住宅などを守る堤防・護岸を整備します

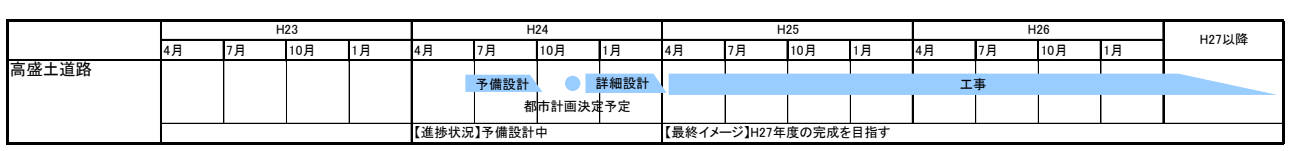
②これまで無堤であった河口部では河川堤防をまちづくりと連携して新たに整備するとともに、浸水対策の矢板護岸に着手します。築堤済の区間では沈下した堤防の復旧を行います



◆高盛土道路【県・市事業】

①津波減勢のため、高盛土道路を設置します

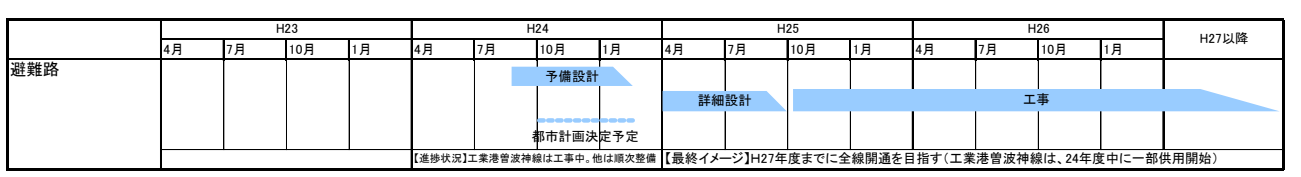
②北上川右岸は、重吉町を起点に門脇地区に至るルート、北上川左岸は湊地区から渡波地区に至るルートで高盛土道路を整備し、景観や環境に配慮した多重防御で地域を守ります



◆避難路【市事業】

①津波から逃れるため海岸部から内陸部にスムーズに移動できる道路を作ります

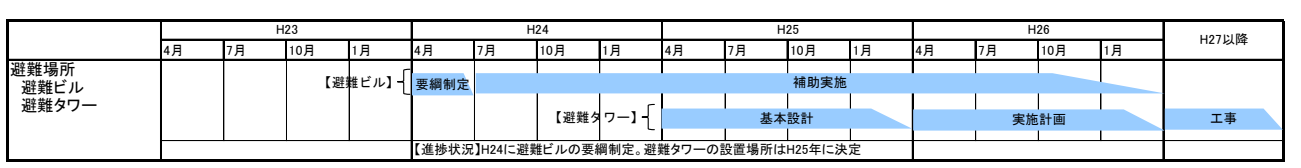
②施工中の石巻工業港曽波神線をはじめ、新規事業も含めて港湾や海岸から南北に伸びる道路を多数整備し、有事に備えます



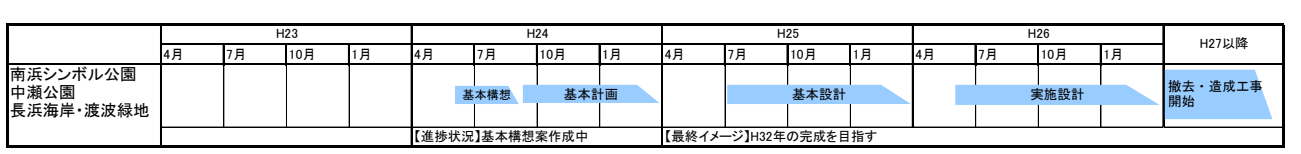
◆避難場所（避難ビル・避難タワー）【市事業】

①万が一遠くに避難できない場合のために、歩いて避難のできる避難場所の整備を行います。

②民間事業者（市補助）および市が、避難場所となるビルやタワーを整備し、避難が困難となる地域を解消します



◆南浜シンボル公園、中瀬公園、長浜海岸・渡波緑地【市事業（南浜シンボル公園は国の整備を要望）】

①沿岸を緑地化して住民が憩える場所とします

②南浜地区はシンボル公園、中瀬地区は水辺と石ノ森萬画館を活かした公園の整備を行います。渡波地区は長浜海岸の盛土緑化による津波減勢と住環境の向上を図ります